

くにたち

毎年10月になると新潟県中越地方を震源とするマグニチュード6.8、最大震度7の地震により、営業中の新幹線列車が初めて脱線したことが思い出されます。古くから「地震・雷・火事・親父」といえば、世の中の怖いものの代表として用いられてきましたが（ここでいう親父とは台風を意味しています）、この中でも著大地震による災害は規模が大きく、その地震を正確に予測することは困難です。世界の地震の2割は日本周辺で発生していると言われていた中で、日本における鉄道は、地震災害を防止または軽減する努力を従来より休むことなく続けています。

今月号では、「地震災害に備える」と題して特集を組みました。地震災害に対する備えには、様々な地震に対して早く察知して安全に列車を止める、広域な鉄道の構造物の被害や列車の走行安全性を予め評価しておく、鉄道構造物への影響を軽減する補強方法やその評価方法により被害の軽減を目指すことなど、鉄道総研が現在進めている研究開発を紹介しました。

今回の特集が、鉄道事業者をはじめ各方面の方々のお役に立てればと期待しています。これからも鉄道総研が行っている研究開発の成果をできるだけわかりやすくご紹介していきます。(M.Y.)

■監修責任者

熊谷則道

■編集責任者

西江勇二

■企画・校閲

柳川秀明, 坂本義雄, 豊岡友裕, 佐藤和敏,
遠藤三郎, 早勢 剛, 大江晋太郎, 杉本一朗,
重枝秀紀, 吉田 真, 佐溝昌彦, 福田光芳,
野末道子, 上原元樹, 植木健司, 福田 傑,
藤浪浩平, 高橋紀之, 中山康二

■編集・出版

財団法人 研友社

次号 ■ 平成22年11月号 ■ 予告

特集：駅

インターネットのホームページで、様々な最先端の鉄道技術の紹介や関連する情報を提供しています。

■鉄道総研アドレス

http://www.rtri.or.jp/index_J.html

■研友社アドレス

<http://www.kenf.or.jp>

■記事に関するお問い合わせ先

総務部 広報 電話042-573-7219